

- (1面)
- ・北山田中部地区完工式開催
 - ・庄川左岸地区用排水対策の促進に関する提案
 - ・平成29年度砺波管内農地林務優良工事表彰式
- (2面)
- ・農林水産省『たまねぎ』栽培と農業基盤整備を視察
 - ・とやま婦農塾「砺波塾・五箇山なぎ畑塾・井波塾」が開講
 - ・元気とやまむらづくり推進大会開催
 - ・農業農村工学会京都支部研究発表会
 - ・北陸農政局豊かなむらづくり表彰式
 - ・富山県農村文化賞贈呈式

となみ野水土里通信

第24号

平成29年12月6日

富山県砺波農林振興センター
 農業農村整備広報・広聴連絡会議
 〒939-1386 砺波市幸町1番7号
 電話(0763)32-8124【指導課】

県営ほ場整備事業 北山田中部地区 完工式

平成29年11月11日（土）、
 県営ほ場整備事業北山田中部地区
 完工式が南砺市の北山田公民館で
 開催されました。

式では、桃野福光町土地改良区理
 事長の式辞の後、石田砺波農林振
 興センター所長による事業経過報
 告が行われ、完成を祝いました。

本地区は、昭和28年～39年
 にかけて一筆10アール区画の耕
 地整理が行われましたが、営農形
 態の変化や用排水路の老朽化、そ
 して転作の拡大による農地の汎用
 化の必要性が生じ、早急な生産基
 盤の整備が要望されました。

今回、平成20年から26年の
 7年間に於いて北山田中部東地
 区、西地区の2地区で区画整理8
 5ha、暗渠排水27ha、客土10
 haを施工し、生産基盤を整備しま
 した。

←事業経過報告をする
 砺波農林振興センター石田所長



またこの事業にあわせ、農事組合
 法人への集積率は北山田中部東地
 区88%、北山田中部西地区97%
 となっており、今後も一層の営農上
 の効率化が期待されています。

庄川左岸地区用排水対策の促進に関する提案

去る平成29年11月30日

(木)、砺波総合庁舎別館第1会議
 室において、庄川左岸地区用排水対
 策促進協議会会長・夏野砺波市長
 による、①国営総合農地防災事業
 「庄川左岸地区」の促進、②国営附
 帯県営農地防災事業「庄川左岸地
 区」の促進、③県営基幹水利施設ス
 トックマネジメント事業の促進、に
 ついて提案されました。

石田砺波農林振興センター所長
 は、防災減災事業、ストマネ事業と
 もにしっかりと進めていきたいと
 回答しました。



平成29年度 砺波管内農地林務優良工事表彰式

平成29年12月6日（水）、砺波
 管内農地林務優良工事表彰式が開催
 されました。

平成28年度に完成した県営（50
 0万円以上3,000万円未満）・団
 体営工事を対象として、優良な工事の
 施工者を表彰するものです。また、先
 だつては県営（3,000万円以上）
 工事を対象とした、富山県建設優良工
 事等表彰式も開催されており、当管内
 から土地改良部門において2件の
 表彰（農林水産部長賞）を受けていま
 す。

当管内では昨年度より表彰を受け
 た工事の現場代理人にも記念品を贈
 呈しています。本表彰の目的である
 「建設技術の向上と適正な施工を図
 り、もって建設事業の健全な発展を期
 する」ための励みになっていただけれ
 ば幸いです。



優良工事受賞者

受賞者（土地改良部門）
 砺波管内農地林務優良工事表彰
 （県営）

- ・最優秀賞 山田建設㈱
- ・良賞 ㈱長谷川建設
 （団体営）
- ・優秀賞 中越興業㈱
- ・良賞 片山工業㈱
- ・良賞 松本建設㈱
- 富山県建設優良工事等表彰
 ・部長賞 砺波工業㈱
 （㈱西森組）



(団体営)優秀賞 中越興業㈱



(県営)最優秀賞 山田建設㈱

イベント 開催案内

平成30年1月19日（金）
 農業農村整備事業関係調査研
 究発表会
 （県民会館）

平成30年1月19日（金）
 第29回富山県農村振興技術
 連盟写真展
 （県民会館）

平成30年2月10日（土）
 ～2月18日（日）

第29回富山県農村振興技術
 連盟写真展砺波展示
 （砺波散居村ミュージアム
 情報館）

ブログやっています。
 “とやま水土里探訪ブログ”
<http://facebook.com/toyama.nousonseibi>



とやま水土里探訪 検索

☆砺波農林振興センター
 管内の情報を
 ホームページで発信中!!
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1633>

砺波農林 検索

農林水産省『たまねぎ』栽培と農業基盤整備を視察

去る平成29年9月7日(木)、砺波市五郎丸のJAとなみ野たまねぎ集出荷貯蔵施設において、農林水産省の荒川農村振興局長、印藤北陸農政局長ほか幹部職員、本県から佐野JAとなみ野代表理事組合長、山田砺波市土地改良区理事長、清水県農林水産部次長などとの意見交換が行われました。

JAとなみ野からは、『たまねぎ』の大産地化に向けて30年度作付面積を200ha規模まで拡大(29年度作付面積118ha)、担い手への農地集約と『たまねぎ』秀品率の向上を図るため農地の大区画化や汎用化など基盤整備の必要性など発言されました。

農林水産省からは、たまねぎ栽培による収益実績や水稻栽培によるべト病対策、農

とやま帰農塾「砺波塾・五箇山なぎ畑塾・井波塾」が開講

とやま帰農塾は、都市と農山漁村の交流や、地域への定住・半定住を促進するため、県が(NPO法人)グリーンツーリズムとやまへ委託、実施しているものです。

今年度は、6月10日(土)より12日(月)に砺波塾、8月23日(水)より25日(金)にわたり五箇山なぎ畑塾、10



イワナの塩焼き調理中

月中旬管理機構との連携状況について質問がありました。



視察状況

月27日(金)より29日(日)にかけて井波塾と管内3地域でとやま帰農塾が開講されました。

井波塾では、千葉県や岐阜県の方など9名の参加があり、南砺市小又地内のぬく森の郷に宿泊し、欄間彫刻で有名な井波彫刻木彫り体験として、谷口信夫工房にてノミを使い木の葉型の皿づくりを体験。イワナの塩焼きでは、イワナのはらわた処理・串刺しを体験した後、昼食に炭火によるイワナの塩焼きを美味しくいただきました。また、炭焼き体験では、マスク越しに鼻の周りを真っ黒にする体験までした受講生もいました。雨天のため、里芋掘り体験から、ずいき(芋茎)の皮を剥いた後、蕪でつるす干しずいき作り体験に内容変更となった講座もありましたが、期間を通し地元の方々との交流しながら里山を守り活用する中山間地域の生活を体験していただきました。

元気とやまむらづくり推進大会開催

7月31日「元気とやま」むらづくり推進大会が県民会館で開催され、農村振興・環境保全に功績のあった6団体が優良活動知事賞を受賞し、砺波管内からは長楽寺環境保全委員会(南砺市)が選ばれました。



北陸農政局豊かなむらづくり表彰式

11月16日北陸農政局豊かなむらづくり表彰式が金沢市坂合町で行われました。富山県内からは、小島環境保全向上対策協議会(砺波市)が北陸農政局長賞を受賞しました。



富山県農村文化賞贈呈式

12月6日、第66回富山県農村文化賞の贈呈式が富山県民会館でありました。農業振興や地域活性化に取り組む6団体が受賞し、砺波農林振興センター管内からは、院瀬見地区環境保全委員会が選ばれました。



農業農村工学会京都支部研究発表会

農業農村工学会京都支部研究発表会が金沢市で10月に開催され、「たまねぎの産地化と基盤整備の果たした役割」について、砺波農林振興センターの高多主任が発表しました。

砺波平野では豊富な水資源を背景に、稲作主体の基盤整備や営農が行われてきましたが、透水性の良い扇状地の水田が広がる地域特性を活かし、平成20年より「たまねぎ」の産地化の取組みが進められています。たまねぎの生産では、これまで整備された水田や農業用水、水田でたまねぎなど畑作物が生産できるように排水性を改善するため設置された深い排水柵などが活かされています。具体的には、畝が乾燥した際に畝間に用水を流す「畝間かん水」、連作障害を軽減するため収穫後の「湛水処理」が行われています。



←議題について発表する砺波農林振興センター高多主任

編集後記

先日、先の読めない秋の空の下、秋らしい情緒を楽しもうと黒部峡谷トロッコ電車に乗って樺平まで紅葉を見に行きました。

誰の行いが悪いのか、前日の夜中から暴風が吹き荒れており、コンディションは最悪。これは、トロッコ旅路も期待できないなど悲観的でしたが、峡谷という地形からか現地は風が思ったより吹いておらず、雄大な自然を感じることができました。

紅葉の美しさは何事もやってみないとわからない、そんな前向きな考え方を自然に教えられ、心機一転、チャレンジ精神を大切に日々の業務に臨みたく思います。

(水落 記)